もとまち タイムズ

2022 増刊号
2022年3月19日発行
通算32号
2014年7月29日発刊

祝

広島市立基町小学校創立50周年を記念し、基町プロジェクトと小学校が連携した取組をご紹介します。

基町プロジェクトとは？

まなぶ × つくる × つなぐ

広島市立大学と広島市中区役所の連携により、**若者が中心となった創造的文化芸術活動や地域交流など**に取り組む「基町プロジェクト」を、「基町から広島の復興と創造を発信する」というテーマに基づいて、「（基町の地域特性を）まなぶ」「（基町の新しい魅力を）つくる」「（基町の内外を）つなぐ」の３方向から推進します。また、若者が基町で様々な体験プログラムに取り組むことで、若者の地域への定着へとつないでいきます。

広島市立大学 Hiroshima City University　HOTO MACHI 基町プロジェクト

基町プロジェクトと基町小学校の連携の記録

このもとまちタイムズ増刊号は、2021 年に創立 50 周年を迎えた広島市立基町小学校との連携を記録・紹介する特別増刊号です。

この 1 年間を通じてプロジェクトは、小学校や PTA、地域の方々と協力しながら様々な取組を行って参りました。2019 年末から始まった新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大は、2021 年になっても収まらず、残念ながら地区三大行事も中止となりました。こうした時期に創立 50 周年を迎える基町小学校と地域のために、プロジェクトでは、未来に向けた希望のメッセージとなるような取組をしたいと考えました。

基町住宅地区の中にある基町小学校は、基町高層アパートが設計される段階から、設置が計画されていた地域のための小学校です。かつて、白島・幟町・袋町・本川などの小学校にバラバラに通っていた基町の子どもたちは、1971 年に基町小学校が開校（1973 年完成）したことにより、1 つの学校に通学できるようになりました。この 50 年間の卒業生は、2,934 名を数えます。つまり、この 50 年の歴史には、地域とともに歩んできた様々な思い出が詰まっていると言えるでしょう。

そこでプロジェクトでは、これまで地域の方々からご提供・お借りした基町や小学校の懐かしい写真に加え、2021 年の最近の小学校の様子を新たに撮影し、それらを合わせて展示することで、地域とともに歩んできた小学校の姿を振り返り、来るべき未来の基町に想像を馳せていただきたいと考えました。皆様のご協力のもと、11 月 13 日、基町小学校で開催された記念式典・行事に合わせ、屋外写真展示のほか、年間を通じた様々な取組が実施できました。厚くお礼申し上げ、ここにご報告いたします。

2022 年 3 月
基町プロジェクト

スタッフからのご報告 1

「平和への道」カンナの定植を撮影

原子爆弾が投下された約 1 カ月後、現在の基町小学校の南校門近く（爆心地から約 820 m の地点）に咲いた花を知っていますか？　壊滅した広島の大地に芽吹いたカンナの花は、原爆による被害を受け生き残った人々や現代を生きる私たちに希望を与える存在です。基町小学校でも、このエピソードを大切に語り継いでおり、50 周年記念事業の 1 つとして、6 月 25 日、小学校正門前の通学路に、全校児童でカンナの苗を植え、この道を「平和の道」と名付けました。カンナのエピソードを通して平和の尊さを伝えようと、1 年生から 6 年生まで順番に苗を植え込み、最後に水を与え、「立派に花が咲きますように」と願いを込めました。 児童たちは普段土に触れる機会が少なく、ためらいながらの作業でしたが、よくがんばりました。プロジェクトでは、この様子を撮影し、写真展を行うことにしました。

スタッフからのご報告 4

「地域と共に歩んだ 50 年展」写真展

11 月 13 日、基町小学校創立記念式典の日に、一日限りの特別な写真展を校庭で開催しました。小学校にお借りしたテント 3 張りを並べ、全長約 18 m になる梁の内側に、戦前から現在に至るまでの基町の写真 114 枚を展示しました。テントの外側には、地域の子供たちの成長と基町の発展を願い、赤を基調に元気な鯉を描きました。鯉のグラフィックデザインは、広島市立大学芸術学部デザイン工芸学科視覚造形 3 年土居茉桜香さんによるものです。鯉の内側に入ると、時代ごとに移り変わる基町の様子を視覚的に体験できるように展示を構成しました。当日は天候にも恵まれ、全校児童・卒業生・保護者・教職員・地域の方々、あわせて約 130 名の方々に、写真展を鑑賞して頂きました。

スタッフからのご報告 7

基小創立 50 周年記念式典「日々新」

11 月 13 日、基町小学校の創立 50 周年記念式典が行われました。校長先生や地域の代表者の方々の挨拶を校内放送で聴いた後、全校児童が一生懸命練習してきたソーラン節を披露しました。卒業生も加わり総勢約 100 名でのソーラン節は圧巻でした。また、在校生と基町在住のアーティスト・イタイミナコさんが共同制作した小学校の新しい校名パネルもお披露目されました。このパネルは、子どもたちのイイモノが沢山写った写真で構成されています。最後に、全校児童・卒業生・教員・地域の方も集合し、ドローンで記念写真を撮影しました。地域の方々も多数来場され、華やかな式典となりました。

スタッフからのご報告 8

共同制作のサポート

基町在住のアーティスト・イタイミナコさんが、小学校の創立 50 周年記念事業の 1 つとして、児童たちと一緒に校名パネルを制作しました。基町プロジェクトでは、この共同制作の企画をサポートしました。イタイさんは児童たちに「自分にとって“イイモノ”」を写真で撮影するようにお願いし、集まった写真で「基町小学校」という文字を構成してパネルにしました。写真には、大切なお友達や家族、アニメキャラクター、玩具、好きな食べ物や景色などが写っていました。式典後、パネルは体育館の窓に設置されました。また、式典当日、イタイさんは 9 コアの倉庫に眠っていた獅子頭を使って、ソーラン節を一緒に踊りました。児童たちはサプライズで登場した獅子舞に大喜びでした。

基町地区と基町小学校のあゆみ

1589　広島城築城開始
1871　広島城本丸に鎮西鎮台第一分営が設置
1873　鎮西鎮台第一分営が第五軍管広島鎮台へ改称
1885　西の丸に広島衛戍病院が移設 ❶
1886　広島鎮台が第五師団へ改称
1894　9月15日から翌年4月27日まで、第五師団司令部に大本営が移され日本軍を指揮。広島が臨時の首都へ
1941　12月太平洋戦争が開戦
1945　8月広島市へ原子爆弾投下。基町一帯も壊滅。終戦
1946　基町地区で応急住宅の建設が始まる
1968　基町地区再開発が始まる ❷
1971　小学校の建設
1972　4月初代学校長金岡照着任。開校式（1～4年生352名）
1973　広島市立基町小学校創立。初めての入学式開催 ❸
1975　3月第1回卒業式（卒業生95名）
1976　4月病弱学級（広島市民病院内）設置
　　6月被爆エノキを守る運動を児童会で決定
　　11月創立10周年記念式典（四代 PTA会長徳弘親利）
1989　2月被爆エノキ枯死宣言、エノキ二世植樹
　　5月文部省「中国帰国子女教育研究協力校」（平成元・2年度）指定
1991　11月創立20周年記念式典（九代PTA会長井上孝則）
2001　11月創立30周年記念式典（十四代PTA会長吉ノ谷昌子）
2011　11月創立40周年記念行事（十八代PTA会長好川猛彦）
2007　9月「ほのぼの基町」開所
2012　8月「ほのぼの文庫」開所
2013　7月「基町住宅地区活性化計画」策定
2014　基町プロジェクトが始まる。M98の開所
2019　基町プロジェクトに、Unité（ユニテ）が開所
2020　1月新型コロナウイルス感染症のパンデミック発生
　　5月「基町地区活性計画」を策定
　　10月基町プロジェクトに、基町資料室が開所
2021　11月創立50周年記念行事（二十二代PTA会長山本岸子）

出典・参考：令和3年度基町小学校学校要覧、『基町 姿を変える広島開基の地』

スタッフからのご報告 2

「平和への道」写真展

本格的な夏を迎えた 7 月、「平和への道」には、強い日差しと暑さに負けずに、カンナが黄色や赤色のとてもきれいな花を咲かせました。プロジェクトでは、地域の方々に広く知っていただきたいと、6 月に写真撮影した児童たちの定植の様子を、幅 110×長さ 200cm の大きな布に印刷し張り合わせて、基町ショッピングセンターにあるモトマチ・アートウインドウで展示しました。通りがかった地域の方々からは、「写真がとても綺麗だね」「小学校ではこんな取り組みをしているんだね。おもしろいね」「いつもここを通るのを楽しみにしているよ」「華やかになっていいね」などの声を頂きました。基町プロジェクトが得意とする写真を使った取組で、地域の方々に喜んでもらえる写真展になりました。

スタッフからのご報告 3

「基町写真展 2021」写真展

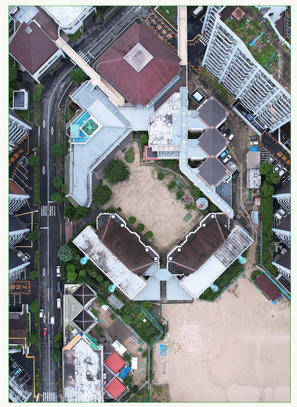
毎年夏にプロジェクトが開催している基町写真展ですが、2021 年はコロナ禍のため全面的にオンライン開催としました。今年は小学校の創立 50 周年を記念し、市内全域に向けて、小学校の卒業生やその保護者の方々へ懐かしい基町の写真の提供を呼びかけました。また、小学校から、創立当時から撮影され続けた写真アルバム 5 冊をお借りして、年代別の小学校の様子を特別コンテンツとして公開しました。いくつかの写真には、基町高層アパートの建設と同時に、小学校の校舎もできていく様子が写っていました。地域とともに歩んできた小学校の姿を、インターネットを通じて多くの方々に発信したオンライン写真展になりました。

写真上：小学校の建設現場から見える被爆楠
写真下：校庭での運動会（1981）

スタッフからのご報告 5

小学校校舎の記念撮影

8 月の夏休み期間を利用して、現在の校舎の様子や小学校全体の様子を撮影・記録しました。今回撮影した写真も、いつか懐かしく振り返る日が来るでしょう。小学校の建築は、基町住宅地区の一部として、大高建築設計事務所（大高正人 1923–2010）により設計されました。



スタッフからのご報告 6

基町資料室で総合的学習のお手伝い

10 月と 11 月に、基町小学校 4 年生の総合的学習のお手伝いをしました。児童たちは地域の方々にインタビューをして、基町の歴史を調べていました。そこでプロジェクトでは、児童たちを基町資料室に案内し、昔の基町の写真などを見てもらいました。色々な写真や資料を見ることで、「昔はどれくらい一軒家があったの？」「なぜ、こい公園に駐車場ができたの？」「なぜ、運動会に大人の人も参加しているの？」と、たくさんの「なぜ」が生まれました。児童たちは「なぜ」の理由を解決するため、何度も M98 に足を運んで、スタッフに質問したり、資料室で調べ物をしたりしました。自分で感じた「なぜ」という疑問を、自分の力で解決しようとする姿勢は素晴らしかったです。5 年生になる前に「未来の基町創造計画」を披露して頂く予定です。プロジェクトスタッフ一同、楽しみにしています！

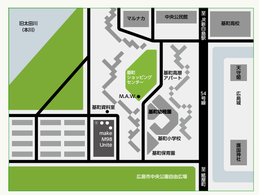
スタッフからのご報告 9

「基町小学校のあゆみ」写真展

10 月から 12 月、基町ショッピングセンターのモトマチ・アートウインドウで、基町小学校の 50 年のあゆみを紹介する写真展を開催しました。地域内外の小学校卒業生や保護者から、たくさんの卒業アルバムや子供のころの懐かしい写真を提供して頂きました。これらの写真は、広島市立大学芸術学部の学生が 1 枚ずつ丁寧にスキャンしてデジタルデータにしました。展示では、50 年分の年表と懐かしい写真を組み合わせて、基町住宅地区の歴史を振り返る構成としました。11 月の式典の 1 ヶ月前から展示することで、記念式典を盛り上げつつ、11 月 13 日の式典に参加できなかった方々にも小学校の歴史に触れられるよう、年末まで展示しました。

基町プロジェクトの拠点紹介

M98：旗艦拠点、総合案内
基町資料室：基町の写真や模型を常設展示
Unité：実験的ポップアップショップ
make：創作スペース
M.A.W.：ショーウインドウでの作品展示



引き続き、感染症予防対策を行っています。

1 検温　2 消毒　3 連絡先を記入

基町プロジェクトと「もとまちタイムズ」は、基町連合自治会、基町地区社会福祉業議会、広島市立基町小学校、基町地域包括支援センター、基町住宅地区のみなさんにご協力いただいています。いつもありがとうございます。記事の内容にお気づきの点がありましたら、M98 までご連絡ください。新型コロナにより、催しを中止・延期する可能性があります。

お問い合わせ

基町プロジェクト活動拠点 M98
広島市中区基町 16 番 17-2-103
（基町郵便局 2 つ隣）
開 所 日：**毎週水曜日～日曜日**
開所時間：**12:00–17:00**
電話番号（開所日のみ）：
082–555–8250
※予告なく開所日・開所時間が変更になる場合があります。

詳しい活動情報

ウェブサイトで情報発信中です。
QR コードか検索をご利用下さい。
基町プロジェクト
SNSも更新中！→

REIWA3 AD2021

広島市立基町小学校

HIROSHIMA MOTOMACHI

50 創立周年記念

基町プロジェクト × 基町小学校　令和３（2021）年度連携の記録

もと
まち

タイムス Special Edition